

FIM

燃料規定

2023 年

FIM 燃料規定

目次

改訂	1
A. レギュラー燃料	2
B. レース燃料	2
1. 準拠している燃料	2
2. 大会指定サプライヤー	2
C. テストラボラトリー	3
D. カテゴリー1 無鉛燃料または混合無鉛燃料の FIM 仕様	3
E. カテゴリー2 無鉛燃料または混合無鉛燃料の FIM 仕様	5
F. 無鉛燃料と潤滑油の混合に関する FIM 仕様	7
G. 燃料コントロール	8
H. 燃料サンプル申請用紙	11
I. 公認された燃料リスト	11

FIM 燃料規定

改編	施行時期	改訂条項
〇	2023年1月1日	

A. レギュラー燃料

選手権、カップまたはプライズの技術規則または大会特別規則に特筆されていない限り、通常のカソリンスタンドで入手できるレギュラー燃料が使用されなければならない。

レギュラー燃料とは、通常のカソリンスタンドでオクタン価 98 を超えない燃料ガンから入手できるものとする。

B. レース燃料

燃料会社により参加チーム/ライダーに供給される燃料（通常のカソリンスタンド以外で入手できる燃料）とし、本規則**事項 D**に記載される FIM 仕様に適合していないかのテストが実施されなければならない。

1. 準拠している燃料

本規則の**事項 D**に燃料が適合している場合、テストレポート及びロット番号を含む証明書が燃料会社から発行される。

燃料会社は、レースに参加するクライアントのチームライダーに対し、この証明の写しを提供する。

FIM 仕様に適合する燃料のリストは、本規則の**事項 I**に記載されている。

2. 大会指定サプライヤー

燃料の指定サプライヤーが認められる大会では（ある特定イベントまたは世界選手権、プライズまたはカップ）、前述の燃料が FIM 指定機関によりテストされ、本規則の**事項 D**に記載されている仕様に適合しているか確認される。

- 合致している場合、テストレポート及びロット番号を含む適合証明が発行され、ライダー/チームの燃料コントロール時に本規則の**事項 I**が適用される。
- 適合していない場合、主催国協会/オーガナイザー/プロモーターは、FIM 仕様に手起動しない燃料の使用について権利を放棄するよう要請することが出来る。権利放棄が得られた場合、ライダー/チームは構成物質を変えずにその燃料の使用に関して責任をもって使用する。FIM によって管理される場合がある。

C. テストラボラトリー

レース燃料及び/あるいは燃料テストに関わる質問等は以下のテスト機関に行う。

Intertek (Schweiz) AG

Analytical Testing – Fuel Lubricants & Combustible

Wagistrase 2

8952 Schlieren

Switzerland

電話：+41 43 433 78 10

FAX: +41 43 433 78 19

Email: fimfuels@intertek.com

D. カテゴリー1 無鉛燃料または混合無鉛燃料のFIM仕様

以下の燃料仕様は、下記選手権に適用される。

- MotoGP
- Moto2
- Moto3

下記の特性の範囲内でなければならない：(各特性において計測の関連テスト方式が提示される)

特性	ユニット	最低 ¹	最大 ¹	テスト方式 ²
15℃での密度	Kg/m ³	720.0	775.0	ASTM D4052
RON		95.0	102.0	EN ISO 5164
MON		85.0	90.0	EN ISO 5163
酸素安定度	分	360		ASTM D525
気化圧(DVPE)	kPa		90	EN 13016-1
芳香物	% (v/v)		35.0	EN ISO 22854
ベンジン	% (v/v)		1.0	EN ISO 22854
ジオレフィン 総量	% (m/m)		1.0	GC-MS HPLC
実在ガム	mg/100ml		5.0	EN ISO 6246
鉛	Mg/L		5.0	ICP-OES または EN237
マンガン	mg/L		1.0	ICP-OES
ニトロジェン	% (m/m)		0.2	ASTM D 4629

オレフィン	% (v/v)		18.0	EN ISO 22854
酸素	% (m/m)		2.7	EN ISO 22854
硫黄	mg/kg		10.0	ASTM D5453
蒸留度：				EN ISO 3405
70℃でのE	% (v/v)	20.0	50.0	
100℃でのE	% (v/v)	46.0	71.0	
150℃でのE	% (v/v)	75.0		
最終沸騰点	℃		210	
残留物	% (v/v)		2.0	
銅腐食	格付け		クラス1	ISO 2160

図1 仕様及びテスト方法（目視検査は含まず）

- 1 全ての報告される最低及び最大しきい値には、ISO4259 に準拠し正確な最低及び最高しきい値を考慮する為の許容誤差は含まれない。最低及び最大しきい値には許容誤差は含まれない。
- 2 疑義が生じた場合、太字記載のテスト方法が適用される。

以下の酸化剤のみ認められる。

- メタノール • エタノール • イソプロピルアルコール
- イソブチルアルコール • メチルターシャリーブチルエーテル
- エチルターシャリーブチルエーテル • ターシャリアミルメチルエーテル
- ジイソプロピルエーテル • n-プロピルアルコール
- ターシャリーブチルアルコール • n-ブチルアルコール
- 二次ブチルアルコール

更に、上記仕様に加え、燃料自体の外観、目視検査により、明瞭、明るく、液体中の塊が無く未溶解液とする。

5% m/m 未満 の濃縮において存在する個々の炭化水素成分の合計は、燃料の最低30% (m/m)を構成していなくてはならない。テスト方式はGC-FID（ガス・クロマトグラフィー：水素炎イオン化型検出器）および/あるいはGC/MS（ガス・クロマトグラフィー：質量分析法）とする。

各炭素数字グループにおけるナフテン、オレフィン、および芳香物質の総濃度は、下記の表に示される限度を超過してはならない：

%m/m	C4	C5	C6	C7	C8	C9+
ナフテン	0	5	10	10	10	10
オレフィン	5	20	20	15	10	10
芳香物質			1.2	35	35	30

図2 ナフテン、オレフィン及び芳香物質

二環及び多環オレフィンは認められない。燃料は、外部酸素の無い状態で発熱反応を発する如何なる添加物も含まれてはならない。

E. カテゴリー2 無鉛燃料または混合無鉛燃料のFIM仕様

以下に明記される燃料の仕様はカテゴリー1に分類されない全てのFIM競技会を対象とする。

下記の特性の範囲内でなければならない：(各特性において計測の関連テスト方式が提示される)

特性	ユニット	最低 ³	最大 ¹	テスト方式 ⁴
15°Cでの密度	Kg/m ³	720.0	785.0	EN ISO 12185 ASTM D4052
RON		95.0	102.0	EN ISO 5164 ASTM D2699
MON		85.0	90.0	EN ISO 5163 ASTM D2700
酸素安定度	分	360		EN ISO 7536 ASTM D525
気化圧(DVPE)	kPa		100	EN 13016-1 ASTM D5191
芳香物	% (v/v)		35.0	EN ISO 22854 ASTM D6839
ベンジン	% (v/v)		1.0	EN ISO 22854 ASTM D6839 または D5580
ジオレフィン 総量	% (m/m)		1.0	GC-MS HPLC

鉛	Mg/L		5.0	ICP-OES または EN237 AAS
マンガン	mg/L		2.0	ICP-OES AAS
ニトロジェン	% (m/m)		0.2	ASTM D 4629 ASTM 5762
オレフィン	% (v/v)		18.0	EN ISO 22854 ASTM D6839
酸素（10%の エタノール含 有含む）	% (m/m)		2.7	EN ISO 22854 EN 13132 または 元素分析
硫黄	mg/kg		10.0	EN ISO 20846 2ASTM D5453
蒸留度：				EN ISO 3405 ASTM D86
70 °CでのE	% (v/v)	20.0	52.0	
100°CでのE	% (v/v)	46.0	72.0	
150°CでのE	% (v/v)	75.0		
最終沸騰点	°C		210	
残留物	% (v/v)		2.0	
酸素化物*				EN ISO 22854 EN 13132
メタノール	% (v/v)		3.0	
エタノール	% (v/v)		10.0	
イソプロパノ ール	% (v/v)		12.0	
イソブタノー ール	% (v/v)		15.0	
ターシャルブ タノール	% (v/v)		15.0	
エーテル	% (v/v)		22.0	
その他	% (v/v)		15.0	

図3 仕様及びテスト方法（目視検査は含まず）

※ 認められる酸素化物は、最終沸点 210° 以下でパラフィニックモノアルコール及びパラフィニックモノエーテル（各分子内の炭素原子は5以上）とする。

- 3 全ての報告される最低及び最大しきい値には、ISO4259 に準拠し正確な最低及び最高しきい値を考慮する為の許容誤差は含まれない。最低及び最大しきい値には許容誤差は含まれない。
- 4 疑義が生じた場合、太字記載のテスト方法が適用される。

更に、上記仕様に加え、燃料自体の外観、目視検査により、明瞭、明るく、液体中の塊が無く未溶解液とする。

5% m/m 未満 の濃縮において存在する個々の炭化水素成分の合計は、燃料の最低 30% (m/m) を構成していなくてはならない。テスト方式は GC-FID (ガス・クロマトグラフィー：水素炎イオン化型検出器) および/あるいは GC/MS (ガス・クロマトグラフィー：質量分析法) とする。

各炭素数字グループにおけるナフテン、オレフィン、および芳香物質の総濃度は、下記の表に示される限度を超過してはならない：

%m/m	C4	C5	C6	C7	C8	C9+
ナフテン	0	5	10	10	10	10
オレフィン	5	20	20	15	10	10
芳香物質			1.2	35	35	30

図2 ナフテン、オレフィン及び芳香物質

二還及び多環オレフィンは認められない。燃料は、外部酸素の無い状態で発熱反応を発する如何なる添加物も含まれてはならない。

F. 無鉛燃料と潤滑油の混合に関する FIM 仕様

潤滑油は、以下であってはならない。

1. ガソリンに添加した場合にガソリンの組成を変化してはならない。
2. ニトロ化合物、過酸素添加物またはその他エンジンパワーを向上する添加物を含んでいてはならない。
3. 如何なる状況においても総合的な性能の向上に貢献するものであってはならない。
4. 250°Cまでの蒸留において 10% (mm) 以上の蒸発による質量減少があってはならない (テスト方式：模擬蒸留 GC)。
5. 最大 10mg/Kg のアンチノック作用剤 (鉛、マンガン、鉄) を含んでいなければならぬ。

更に以下は、無鉛ガソリンと潤滑油の混合仕様とする。

下記仕様は以下のしきい値内であること（各特性における計測のための関連するテスト方式は提示されている。）

特性	ユニット	最低	最大 ⁵	テスト方式
15℃での密度	Kg/m ³	690	815	EN ISO 12185 ASTM D4052
RON			102	EN ISO 5164 ASTM D2699
MON			90	EN ISO 5163 ASTM D2700

⁵ 最低及び最大しきい値には許容誤差は含まれない。

G. 燃料コントロール

FIM はガソリンコントロールを行う。例：ライダー/チームが大会で使用する無鉛ガソリン、混合ガソリンまたは混合ガソリンと潤滑油。このコントロールは、大会時のサンプリング及びFIM 指定の研究所における試験を含む。

3. サンプリング

- 1) FIM テクニカルディレクター（またはFIM テクニカルディレクターがいない場合、主催国協会の車検長）がサンプリング運営並びに監督責任を有する。
- 2) ガソリンコントロールに選出されたライダー/チームは、当該車両をガソリンコントロールに指定された場所に移動することを指示される。
- 3) FIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長は、当該車両から新しいサンプル容器、ピペット、ハンドポンプを使用してガソリンを得る。
- 4) ガソリンはピペット/ハンドポンプを使用しガソリンタンクから3つのA,B,Cと指定された容器に移される。容器はFIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長により閉じられ封印される。
- 5) FIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長はガソリンサンプル申告書に記入（全て）し、署名する。記入された情報が正しいものか確認した後にライダーまたはチーム代表もまたこの申告書に署名する。
- 6) FIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長は、A、B、C サンプルを収容する適切な梱包ボックス及びそれぞれの署名されたガソリン申告書を準備する。このボックスは、登録運送会社によりFIM 指定研究機関に送付される。

4. テスト

- 1) FIM が選出されたライダー/チームに設定した一つまたはそれ以上の特性について確認される。(事項 D, E または F に明記されるテスト方法によって)
- 2) サンプル A は、FIM 指定研究機関により初めに検査が行われる。
- 3) サンプル B は、FIM が必要とした場合の二次検査に用いられる。A または B のテスト結果は、ライダー/チームにとって有益である。A 及び B サンプルに掛かる輸送費並びにテスト費用は FIM によって支払われる。
- 4) テスト完了後、FIM 指定研究機関は、速やかにテスト結果を当該 CTI コーディネーターに送付する。
- 5) テスト結果が陰性(テストされた物質が仕様に合致している場合)、当該ライダー/チームは FIM によって連絡される。また、順を追ってライダー/チームの所属する協会(FMN)、FIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長、所管監督者(例:レースディレクション、国際審査団等)、CTI ディレクター、当該スポーツ委員会ディレクター並びにコーディネーターにも連絡される。
- 6) A 又は B サンプル、A 及び B サンプルのテスト結果が陽性の場合(一つ以上の特性*が合致していない)のみ、担当 CTI コーディネーターは、当該ライダー/チームに対し電子メール*で連絡し(検査結果を含む)、24 時間後、FIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長、所管監督者(レースディレクション、国際審査団等)、CTI ディレクター、当該スポーツ委員会ディレクター及びコーディネーターに連絡する。
*合致しない特性(外観を除く)とは、ガソリンまたは混合物が遵守していないことを明確に表していること。
- 7) ライダー/チームが再検査(専門家の調査報告)を要求する場合、ライダー/チームに対するテスト結果通告書に関する配送状態通知を受領後 72 時間以内に電子メールによって担当 CTI コーディネーターに行わなければならない。

•再検査要請(専門家の調査報告)を要求した場合、再検査(専門家の調査報告)用としてサンプル C が用いられ、A/B サンプルで確認された物質特化したテストが行われる。ライダー/チームは、C サンプルを FIM の指定する研究所でテストすることを要求することが出来る。C サンプルの郵送及びテストに掛かる経費は、当該ライダー/チームが負担しなければならない。

C サンプルのテスト結果の通知は、単等 CTI コーディネーターによって当該ライダー/チームに対し、電子メール*で行われ、同等の情報はライダーの所属する協会 (FMN)、FIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長、所管監督者 (レースディレクション、国際審査団等)、CTI ディレクター、当該スポーツ委員会ディレクター及びコーディネーターにも報告される。

- 期限内に再検査要請 (専門家の調査報告) が要求されない場合、担当 CTI コーディネーターは関連情報を電子メール*により、ライダー/チームの所属する協会 (FMN)、FIM テクニカルディレクター/主催国協会車検長、所管監督者 (レースディレクション、国際審査団等)、CTI ディレクター、当該スポーツ委員会ディレクター及びコーディネーターに報告する。

- 8) 当該大会の所管監督者 (レースディレクション、国際審査団等) は、受理した報告に則り裁定を下す。当該スポーツ委員会コーディネーターは、電子メールによって当該ライダー/チームに裁定結果を伝達する。

準拠していない物が

- A サンプル (B サンプルが使用されていない場合) または
- B サンプル (A サンプルの結果が最終のものでない場合) 又は
- A 及び B サンプル または
- A、B、C サンプル (B サンプルが使用され、再検査要請が出された場合) または
- A、C サンプル (B サンプルが使用されず、再検査要請が提出された場合)

自動的に大会からライダー/チームの失格という結果とされる。

C サンプルが仕様に合致したものであった場合、失格とはされない。

更に、場合によってその他のペナルティーが科される。

- 9) ライダー/チームは、当該所管監督者 (レースディレクション、国際審査団等) の裁定に対し、当該種目に関連する FIM 規律及び裁定規定に則り控訴する権利を有する。

H. 燃料サンプル申請用紙

 FIM Fuel Sample Declaration Form												
Discipline												
IMN (xxx/xx)												
Rider/team's name												
Rider/team's number												
Rider/team's email or telephone number												
Team												
Vehicle's make												
Fuel's make and type												
Fuel origin (public station or race supplier)												
Fuel samples taken on date (dd/mm/yy)												
Fuel samples taken at (right before or after):												
MOTOCROSS Practice <input type="checkbox"/> Qualifying race <input type="checkbox"/> Race 1 <input type="checkbox"/> Race 2 <input type="checkbox"/>	TRIAL Day 1 <input type="checkbox"/> Day 2 <input type="checkbox"/>	TRACK RACING Heat n°__ <input type="checkbox"/>	ENDURO /ISDE Day 1 <input type="checkbox"/> Day 2 <input type="checkbox"/> Day n°__ <input type="checkbox"/>	RALLIES /BAJAS Day 1 <input type="checkbox"/> Day 2 <input type="checkbox"/> Day n°__ <input type="checkbox"/>								
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">Container seal n°</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Sample A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Sample B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Sample C</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					Container seal n°		Sample A		Sample B		Sample C	
Container seal n°												
Sample A												
Sample B												
Sample C												
<p>The above listed details refer to fuel samples taken from the fuel tank of the motorcycle specified. Sample A is the first testing sample to be used by the FIM appointed laboratory Sample B can be used for a second analysis if required by the FIM Sample C is used if a counter-expertise is required by the rider/team.</p> <p>The serial numbers of the vial seals and the accuracy of the listed information have been verified.</p>												
Rider or team responsible name												
Rider or team responsible signature												
FIM Technical Director/ FMNR Chief Technical Steward name												
FIM Technical Director/ FMNR Chief Technical Steward signature												

I. 公認された燃料リスト

本リストは cti@fim.ch に要請して入手することが出来る。